

2022年7月29日

各位

株式会社三井住友銀行

一般財団法人ニッセンケン品質評価センターに「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、一般財団法人ニッセンケン品質評価センター（理事長：駒田 展大）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、一般財団法人ニッセンケン品質評価センターについては、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 繊維製品や生産企業へのエコテックス®認証・品質コンサルティングを通じた、アパレル産業のサステナビリティの推進

| | |
|---------------------------|---|
| 目標 8 働きがいも 経済成長も | 8.8 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。 |
| 目標 6 安全な水とトイレ を世界中に | 6.3 2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物質・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質確認結果を改善する。 |
| 目標 12 つくる責任 つかう責任 | 12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。 |

② 多様な製品の品質試験・検査を通じた環境負荷削減や、女性の健康課題の解決

| | |
|---------------------------|--|
| 目標 12 つくる責任 つかう責任 | 12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。 |
| 目標 5 ジェンダー平等を 実現しよう | 5b 女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。 |

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



繊維製品及びその生産現場等で使用される有害化学物質の排除を目指すエコテックス®認証試験。自然環境、人体への悪影響の軽減に貢献



「製品の廃棄ゼロ」実現に向けた取組は繊維・アパレル産業の使命。ニッセンケンは品質課題解決のパートナーとして廃棄ゼロに向けたコンサルティングを提供



多様性は、会社の発展を後押しする重要なファクター。ダイバーシティを実践し、社員1人ひとりが能力を発揮できる労働環境の構築・整備を推進

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上